

## 市庁舎の整備に関する意見交換会における主な意見

■実施日（1日目）：平成30年7月5日（参加者数：30人） 於：文化会館

■実施日（2日目）：平成30年7月17日（参加者数：23人） 於：文化会館

## 論点1：庁舎に求められる機能

- 災害対策等の機能面の向上は必要。
- 高齢者や障害者等が使いやすいよう、エレベーターを増やすなどのバリアフリー対応が必要。
- 総合窓口の設置など、窓口の集約化が必要。

## 論点2：整備手法（本館の取扱いを含む）

- 財政状況が厳しく、人口減少も進んでいるため、庁舎等建設積立基金が貯まってから建て替えてはどうか。
- 本館の近くと笹林公園の一部に駐車場をつくり、新館と企業局とのころには広場的なものを整備してはどうか。
- 駐車場が足りない場合は、地下駐車場を整備すれば、景観や周辺環境に配慮しやすいのではないか。
- 70～80年使用できるよう、新しい庁舎をつくってもよい。
- 本館には歴史的な価値があるため、残し、新庁舎を別に建設したい。
- 本館を免震改修すると高額になるため、耐震改修してはどうか。
- 本館は、耐震改修を行い、それ以外の庁舎を集約してはどうか。
- 20年周期で整備手法を検討するならば、改修が適切。
- 市民や職員の利便性は、改修でも確保できるのではないか。
- 当面の間は、震度6強の地震がきても崩壊しないように対策を行い、20年経った後に検討すればよいのではないか。
- 本館を庁舎として使い続けるのが難しいならば、必ずしもそのままの形で残さなくてよいと思う。
- 古い本館を残すと、将来高くつき、新庁舎に建て替えれば、かえって安く済むのではないか。

## 論点3：（建替えの際の）建設場所

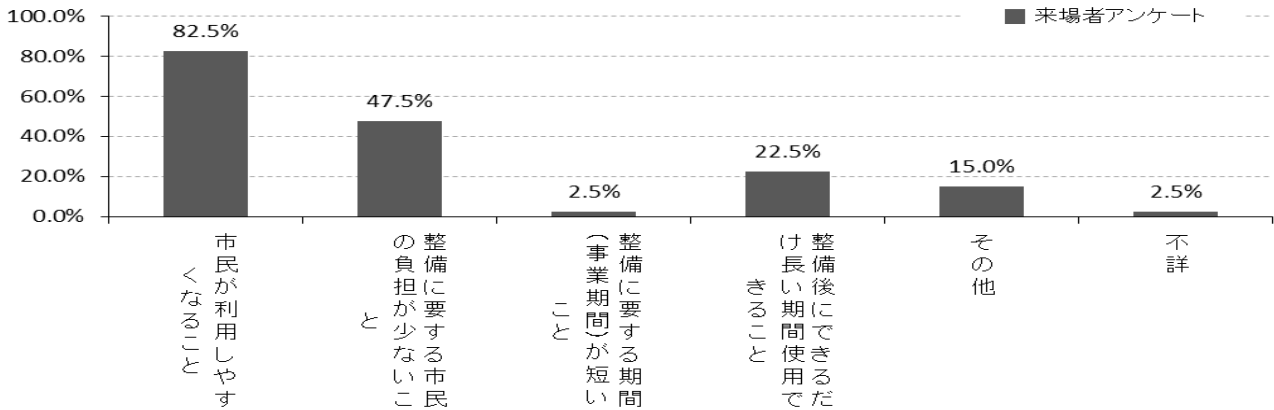
- 統廃合が進められている小学校や中学校の跡地を候補地としたい。
- 笹林公園に建ててよい。

## その他

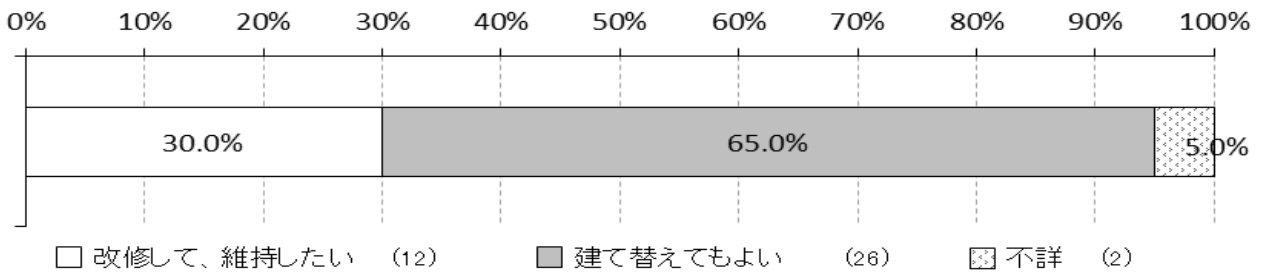
- 仮移転をする場合、半分ずつ改修しながら移転するやり方もあるのではないか。
- 地震があった場合も、市が所有している公共施設を一時的な代替施設として活用できるのではないか。
- 若者が大牟田の未来に期待できるような建設計画を考えて欲しい。
- 人口は減少していくと予想されるため、コンパクトな庁舎にしてはどうか。

(参考) 来場者アンケート集計結果

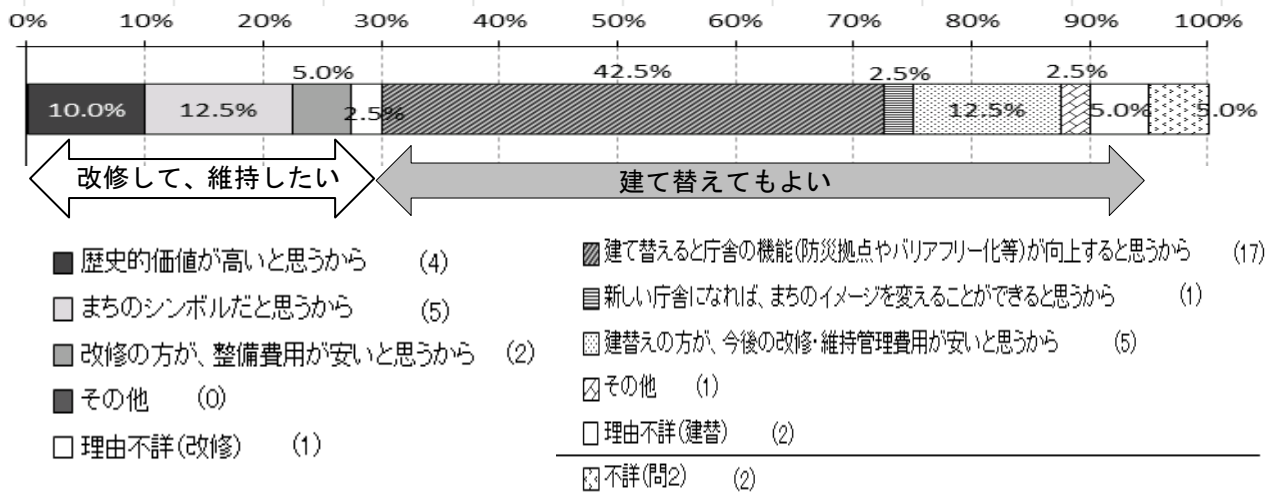
(問1) 整備手法を決定するにあたり、重要だと思う視点 (N=40)



(問2) 本館の整備手法 (N=40)

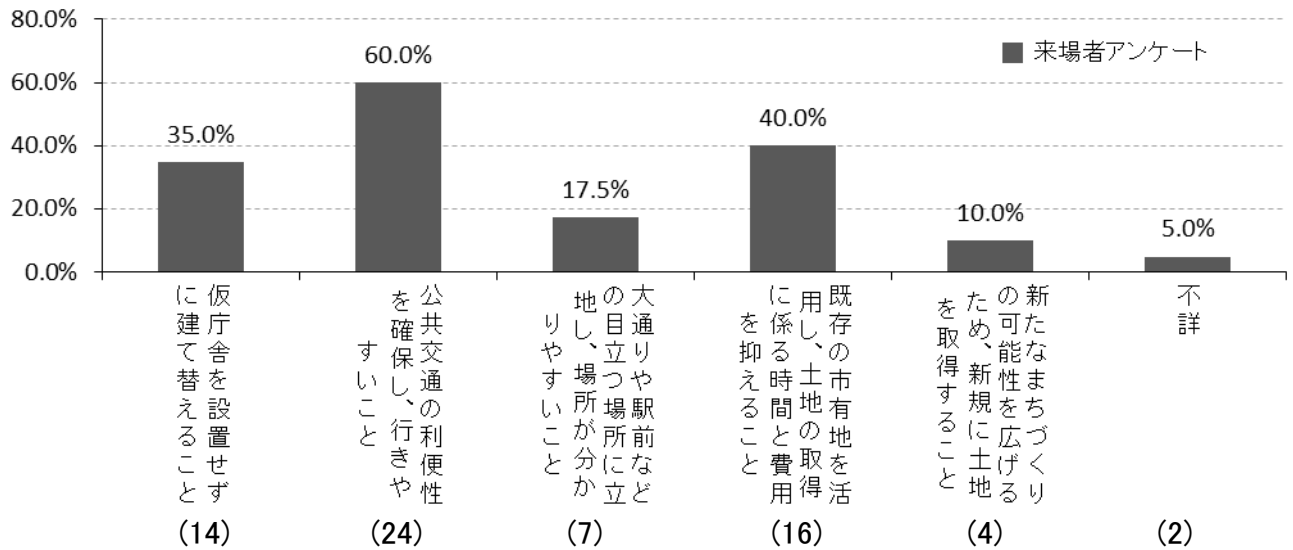


理由の内訳



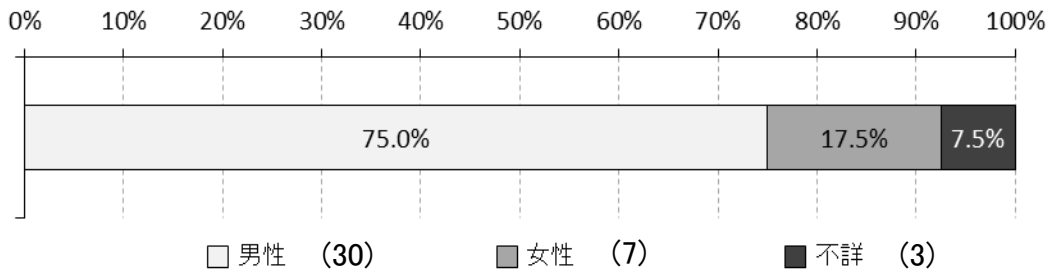
改修して、維持したい理由	数	割合	建て替えてもよい理由	数	割合
歴史的価値が高いと思うから	4	33.3%	庁舎の機能(防災拠点やバリアフリー等)が向上すると思うから	17	65.4%
まちのシンボルだと思うから	5	41.7%	新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから	1	3.8%
改修の方が、整備費用が安いと思うから	2	16.7%	建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから	5	19.2%
その他	0	0.0%	その他	1	3.8%
不詳	1	8.3%	不詳	2	7.7%

(問3) 市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること (N=40)

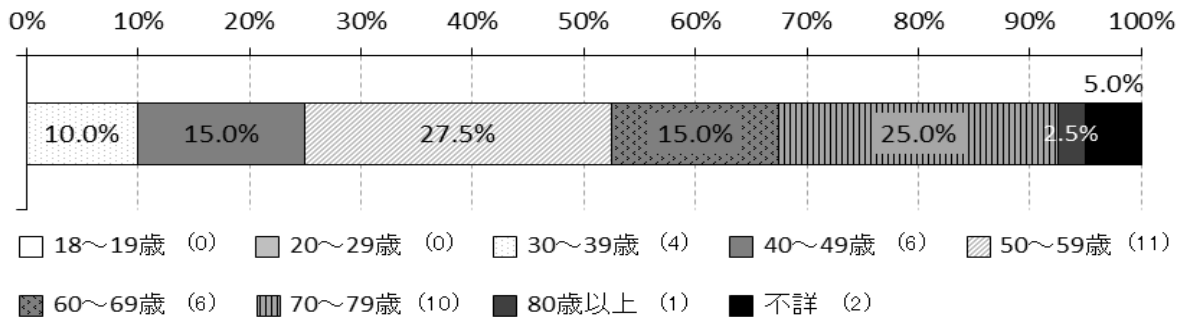


【以下、回答者の属性】

(問4) 性別 (N=40)



(問5) 年代 (N=40)



(問6) 小学校区 (N=40)

